

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

②事業者情報

名 称：大垣市立三城保育園	種別：保育所
代表者氏名：川瀬 裕美子	定員（利用人数）：145名
所在地：大垣市小野2丁目27	TEL0584-81-4797

③総 評

三城保育園は、大垣市の東部に位置しており、隣接する瑞穂市や岐阜市へもアクセスの良い地域として近年住宅開発が進み、入園希望者・延長保育希望児が増加している。平成31年度には、小野幼稚園と合併し、「三城幼保園」として新設・移転予定である。

◇特に評価の高い点

・独自の取り組みとして、子どもが自ら環境について知り、大切にすることを学ぶ「エコ・キッズ（エコ活動）」に力を入れている。また、年間行事の中で、地域に根付いた活動が多数組み込まれており、さまざまな関係機関やボランティアの協力を得ている。

・大垣市の「特別支援教育指定園」として、保護者や関係機関との連携のもと、一人ひとりの特性や発達に応じた支援を行うことで無理なく集団生活が送れるよう配慮している。また、心身の発達につまずきのある子どもたちとの「統合保育」を通し、互いの存在を認め、思いやりの心を育む環境をつくり出している。

・「わくわくタイム」では、子どもたちが自由に遊び、自然と異年齢交流が行われるような時間・空間を確保している。第三者評価の訪問調査時も、園庭で元気に身体を動かす子どもたちの笑顔があふれていた。けんかも含め、子どもたちが社会的なルールを学ぶ大切な機会と捉え、職員は年齢に応じた援助や配慮を行っている。

・職員体制に関して復職保育士を配置する等、人事管理が確立されている。定期的に行う職員人事考課や面談、ワークショップ形式の研修などにより保育の質の向上に向けて取り組まれている。

・保護者に対しては、毎日の送迎時や面談だけではなく行事等で年に数回アンケートをとり、ニーズ把握に努められている。アンケート結果は保護者に報告し、改善を望まれる意見については職員が真摯に向き合い、子どもの最善の利益を考慮した上で対応している。

◇改善を求められる点

- ・市や保育所としての理念・基本方針を保育全般の柱とし、保育所内に掲示する等業務における職員の行動規範として周知されたい。
- ・職務分掌の整備も含め、苦情解決の仕組みの確立に向けた具体的な取り組みが望まれる。
- ・入園者が他校区を含め15自治区にわたる立地実態や3年後の幼保園化を考慮した上で、より多様化する地域ニーズを把握し、運営に反映される取り組みが望まれる。また、保育所の将来性や継続性を常に視野に入れ、市と協働した業務の改善・効率化を期待する。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

園長として未熟で不十分なことばかりですが、今回第三者評価を受け、調査委員の方の専門的かつ客観的な視点での評価と共に、熱心で丁寧なご指導を頂き、私を含め全職員が改めて、一人一人の保育や保育環境を見直す機会となりました。評価結果を基に、保育理念・基本方針を大切にし、保育の資質向上に努めて参りたいと思います。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1- (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1- (1) -① 理念が明文化されている。	A
	I-1- (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 大垣市の基本理念「子どもが健やかに育ち 安心して子育てができるまち」とあり、当保育所も「子どもの健やかな育ちを促し、保護者から信頼され、地域から愛される保育園を目指す」としている。基本方針には、「心豊かにたくましく生きる子の育成を図る」と掲げられている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 保育理念「子ども一人一人を大切に、子どもにとってより良い保育を提供する」、保育方針「よく遊び豊かな心をもった子どもを育てる」、保育目標「み（みなぎるパワー）きっ（興味を持って取り組む）こ（心のやさしい子）」として取り組まれているが、理念や基本方針が保育全般の柱となっているか再確認されたい。</p>		
I-1- (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1- (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B
	I-1- (2) -② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 職員は、各会議等で理念・基本方針を確認されている。当方の保護者アンケートにおける「方針・教育目標などを理解した」との回答は92%であった。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 業務の中で、「理念・基本方針・保育理念・保育方針・保育目標」が、職員の行動規範となるので、十分な周知と共通理解することに今後も努力されたい。理念等を保育所内に掲示するなどの対応が望まれる。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2- (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2- (1) -① 中・長期計画が策定されている。	-
	I-2- (1) -② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	-
<p>良い点／工夫されている点： 公立保育所につき、園長に与えられた職掌の範囲を考慮して評価できない。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-2- (2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2- (2) -① 事業計画の策定が組織的に行われている。	B
	I-2- (2) -② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2- (2) -③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 事業計画は、職員も自覚を持って参画されている。保護者アンケートにおいても、92%の保護者が「理解している」と回答している。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 事業計画に関して、中・長期計画は市が担当しており、当保育所での単年度計画は保育教育計画、研修・防災・食育・行事・交通安全・エコ活動計画等を作成されている。事業計画として提出されたのは行事計画のみであったため、作成時に再確認し、職員・保護者・関係機関等に保育所の保育に対する考え方や姿勢を示すなど、保育に対する安心感や信頼を高められたい。</p>

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 園長として保育所の経営・管理をリードする立場を意識し、職員に対して課題、自らの役割と責任を明らかにすることで信頼関係を構築している。組織に対して指導力を発揮し、保育環境を確保する努力が見受けられた。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 年度当初に職員に対して自らの役割・責任を表明し、保護者には「園だより」等で周知されたい。組織表・職務分掌表は、再検討されるとよい。経営管理者として、コンプライアンス（法令遵守）の徹底が求められる時代であることを考慮し、当保育所に合致する法令リストの作成を望む。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	B
<p>良い点／工夫されている点： 指導力と協同性を重視し、社会福祉法78条「良質かつ適切な福祉サービスを提供するように努めなければならない」を理解されている。管理者としての自覚があり、保育所全体に指導力を発揮されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 近い将来の統廃合による「幼保園」化に向け、また、予想される5年に一度の「第三者評価事業」の義務化も含め、市との協働により保育所の将来性や継続性の課題を常に視野に入れ、ICT（情報通信技術）の活用などで、改善や業務の実効性を期待する。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	-
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	-
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	-

<p>良い点／工夫されている点： 公立保育所につき、園長に与えられた職掌の範囲を考慮して評価できない。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 市の「子育て支援課」が総括している。必要人員は復職保育士等で確保されており、人事管理が確立されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 人事考課を実施し、作成した「個人目標管理シート」をもとに管理者と年２回の職員面談を行っているが、今後さらに「考課と質の向上」に取り組まればと期待する。</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 毎月「有給消化・時間外勤務」の確認を行い、健康管理への早期対応が行われている。管理者も積極的に休暇を取得し、職員は市共済会事業を活用している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 「市研究推進委員会」の計画のもと、計画的に研修を行っている。特に、大垣市での取り組みとして、PDCAサイクルの活用やワークショップを取り入れた研修により質の向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 求められる職員の在り方について、具体的な知識・技術水準など明確にした「教育・研修計画」を作成し、質の向上に向けての見直しを職員会議等で検討されたい。</p>		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 管理者は、人材育成の認識があり積極的に受け入れし、関係する大学等との体制に取り組む姿勢を確認した。実習生受け入れマニュアルも作成されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－３ 安全管理

3－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	B
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の安全確保は、市の「危機管理マニュアル（事件・事故、不審者の侵入、火災、自然災害、食中毒・感染症・インフルエンザ等）」及び「防災マニュアル」のもと、職員体制を整え職員の役割を明確にしている。消防署や警察署の協力を得ながら、月一回の命を守る訓練を年中行事に位置づけている。日常対策として、定期的な園内設備等の点検、ヒヤリハット・事故報告の検証等を通し未然防止に努めている。</p> <p>なお、保護者アンケートでは「保育園では安全性が図られていますか？」という質問に対し、「安全・安心の取組みは十分取られていると思う」が８６％を占めている。また、「保育中の発熱やケガなどの措置、保護者への連絡など体調変化への対応は十分ですか？」に対し、「十分対応されている」「どちらかと言えば対応されていると思う」が９６％を占めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>比較的低地に立地しており、短時間集中豪雨等による道路・園内浸水も想定されることから、これらを考慮した安全対応の検討を期待する。</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	A
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域とのかかわりは、保育所経営方針の一つに「家庭や地域社会との連携に努めた子育て支援」を位置づけ、小学校・福祉施設・自治会等との行事参加や交流を通して、子どもの地域社会体験の支援に努めている。</p> <p>地域子育て拠点「子育てひろばピヨピヨ」は、未就園児親子が園児と遊ぶ場、子育て相談及び子育て情報の提供の場として機能している。ボランティアの受け入れは、「植栽手入れ」「絵本読み聞かせ」など行事計画に組み込み協力を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>ボランティアの受け入れは、保護者や地域と連携した継続的なボランティア活動の実現が求められ、職員体制・マニュアル等の整備を期待する。</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－①	必要な社会資源を明確にしている。	A
Ⅱ－４－（２）－②	関係機関との連携が適切に行われている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の社会資源である関係機関等は、役割や機能別にリスト化し、職員の誰でもが速やかに対応出来る体制を整え、必要に応じて保護者へ情報提供も行っている。また、保幼小連絡協議会、校区連絡協議会等と連携を図ると共に、市は関係機関と連携し必要に応じて各保育所を支援する体制にある。</p>		

改善できる点／改善方法：
関係機関との連携は、保幼小連絡協議会が設置され関係強化されている中で、他関係機関についても定期的な連絡会等の構築を期待する。

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	B
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	B
<p>良い点／工夫されている点： ニーズの把握は、市行政窓口、保護者や民生委員・児童委員等との定期的な懇談等を通して行っている。また、長時間保育、子育て相談及び未就園親子の園体験など地域子育て支援拠点として積極的に活動している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 入園者は他校区を含め15自治会にわたる立地実態からみて、多様なニーズが考えられる。平成31年度からの幼保園化に伴い、更に地域のニーズを把握し保育所運営に反映されることを期待する。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 市の第二次子育て支援計画の基本構想、基本目標・方針を受け、経営方針及び保育目標を定め基本姿勢を明確にしている。職員は一人一人の子どもの実態に沿って、子どもを尊重する保育を心掛けている。特に、人権に関する基本研修が徹底され、日常の保育に繋げている。 プライバシー保護については、市の「個人情報保護条例」及び「情報セキュリティ管理基準表」に基づき「事故点検表」等を通して主旨の徹底を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： さらに、子どもや保護者等と保育所にかかわる個人情報について、その収集・保管・使用目的など合理的な取扱いを示す保育所独自のマニュアル等が作成されることを期待したい。</p>		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 利用者等の意向は、園関係者評価や年2回の保護者アンケート及び懇談等を通して行い、保育所運営の改善に繋げている。また、保護者アンケートによる園評価の意見等は、ホームページで公表している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員は送迎時の言葉かけを積極的に行い、保護者懇談会はクラス別に日程を調整することで、ゆったりとした時間の中で相談しやすい環境づくりに努めている。</p> <p>苦情・意見に対しては、責任者・受付担当者・第三者委員を玄関に明示し、市は苦情解決に対する「第三者委員会」を設置するなど適切に対処する体制を確立している。なお、当方アンケートの「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、保育者（職員）と情報交換したり相談することができますか？」という項目では、「できると思っている」「どちらかといえばできると思っている」という回答が85%を占めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>苦情や意見、要望などは、取り扱う保育所の姿勢を保護者に明確化するため、具体的な手順となる対応マニュアル等の作成が求められる。</p>

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>評価等は、独自の評価項目に基づく自己評価や園関係者評価、園運営に関する保護者のアンケートを定期的に行う体制を確立している。課題は職員間で共有し、PDCAのサイクルにより改善に繋げ保育の向上を図っている。また、これらをホームページで公表し、保護者や地域に対しサービス実態の明確化に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>提供するサービスは、市の第二次子育て支援計画のもと経営方針・保育目標を定め、子どもの発達に沿った保育計画を場面ごとに文書化し提供している。保育計画の見直しは、職員等による自己評価、園関係者評価及び保護者等の意見・提案が反映される仕組みを整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育に関する記録は、子ども一人一人の状況を統一された様式で、表現も差異が生じないよう職員の意識の向上に努めている。文書の管理に関しては担当者を置き、市の「管理マニュアル」に沿って整理し、職員が常に子どもの情報を確認出来るよう努めている。また、電子データなどの管理は、市の「情報セキュリティ管理基準」により厳格に対策を講じている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市はホームページに市内各園の保育情報を掲載し、保護者がニーズに合った保育所を選択出来るよう取り組まれている。</p> <p>「三城保育園あんない」や「入園・進級のしおり」は写真・イラスト・図を使用することで分かり易く工夫し、保育所生活を体系的に説明している。2月に行う入園説明会では資料やパワーポイントを活用し、併せて、園内見学案内を行っている。入園手続きは受付時に「入園のしおり」に基づき説明し、同意を得ている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の変更等は転園先に子どもの指導要録等を引き継ぎ、転園後も保育の持続性に配慮し、電話相談を受ける体制を整えている。また、保育サービス終了後も保護者等に対し同様の対応を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>幼児においては、入園受付時に提出された幼児調査票、保健調査票及びアレルギー調べ、未満児は生活調査票をもとに面接を行い、入園1カ月後の保護者懇談を通してアセスメントを行っている。その後、必要により随時、そして翌年2月に定期的アセスメントを実施し、サービスの実施計画に反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ－４－（２）－①	サービス実施計画を適切に策定している。	A
Ⅲ－４－（２）－②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個別のサービス実施計画は、長期的・短期的指導計画等を踏まえたうえで、担当者案に基づいて学級経営案をまとめ、全体会議で検討・策定する体制を確立している。また、計画は定期又は随時見直しを行い、子ども一人一人に着目した指導計画の策定を行っている。その他、「園だより」、「クラスだより」を毎月発行し、保育目標や行事計画等の情報発信を通して保護者の理解に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

		第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は年度末の園内研修・職員会議等で反省し、次年度に向け改善している。また、保育方針、発達過程、地域の実態が考慮されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅳ－１－（２）	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	—
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>現在、乳児は在園していない。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅳ－１－（３）	１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもが自分からやってみようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣が身に付けられるよう取り組まれている。「わくわくタイム」「元気タイム」誕生会等で、異年齢児や外部の方とのふれあいの場が設けられている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅳ－１－（４）	３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年齢に即した環境構成がなされ、その年齢なりに自分でやろうとする気持ちを大切に、できるところは可視化したり繰り返し行ったりすることで、子どもが自信を持って行動できるよう取り組まれている。</p> <p>「わくわくタイム」では、やりたい遊びをみつけて遊び、各年齢や異年齢と交流し、互いに刺激し合い発達を高めていけるよう工夫されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 小野小学校区連携協議会に参加し連絡を取り合い、保育参観や授業参観を通しての職員交流や小学校での研修会への参加、1・2・5年生との交流等、互いの理解を深められるよう連携している。また、小学校へのスムーズな移行に向け、懇談会が実施されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 平成31年度の移転を控え、現園舎は古いですが、職員の創意工夫により衛生的で明るく過ごしやすい環境が整えられている。ボランティアや老人クラブ等の協力を得ながら、職員一人一人が整理整頓や掃除、草取り等の環境整備に取り組まれている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 基本的な生活習慣においては、長いスパンで身に付くようゆったりと指導されている。年齢に応じて、身体作りと共に、自ら身体を動かして遊ぶことを楽しめるよう「元気タイム」や「リズム遊び」を取り入れている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 「わくわくタイム」として、子どもの興味や関心を捉え、自由に遊べるような環境を設定しており、その中で子どもの自発的な遊びや異年齢交流が行われている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 独自のエコ活動として、ダンボールコンポストで堆肥作りをし、その堆肥を使って野菜や花を育てている。 園外保育に出かけ、自然に触れ合えるようにしている。また、地域のボランティアや老人クラブ等、地域の方と継続的に交流している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 絵本や紙芝居、エプロンシアター等によるお話を保育の中に積極的に取り入れている。 週案会などで検討し、季節や機会を捉え、年齢発達や育ちに合った様々な表現活動に取り組み合っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-3 職員の資質向上

IV-3-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点： 自己評価ガイドラインに基づいて、年2回の自己評価を実施している。子どもの姿を踏まえ週案を立てて保育を実施し、その反省や考察を週案の中に記載することで、PDCAサイクルを作っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点： 職員は子どもの気持ちに寄り添い、気持ちを受け止め対応している。 子どもの発達に合わせ、集団生活の中で上手く力を出せない子どもには、「にこにこタイム」として少人数で遊ぶ時間を設け、自己肯定感や社会性を身につけられるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 「特別支援教育指定園」として、特別な支援を要する子どもとの統合保育により、互いに育ち合える保育が行われている。 プレイルーム担当者が中心となり、クラス保育でのあり方や、遊びの内容等、クラス担任と連携しながら、子ども一人一人に応じたカリキュラムを作成し、無理なく集団生活が送れるよう配慮されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-1-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 異年齢児で遊ぶことができる内容に心掛け、安全面にも配慮されている。夕方の延長保育担当者が配置され、引継ぎ内容をノートやホワイトボードに書く等、継続的な対応がされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 A
<p>良い点／工夫されている点： 以上児は「園児調査票」「保健調査票」、未満児は「生活調査票」に記入してもらい、年度が替わる際に見直し、必要な事項は追加されている。 アレルギー児については、入園前に調査を実施し、医師の診断のもと、保護者・園長・主任・担任・調理員等で密に話し合い、安全な対応がされている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 子どもたちが育てた野菜を自分たちでクッキングしたり、豆やトウモロコシの皮むき等を通して、調理の過程を学ぶ機会としている。 個人差に応じた配膳を行い、食べることに喜びを持てるような工夫がされている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 調理員と一緒に給食を摂ることで、食べ具合や好み等の状況を把握されている。 月末に給食について気付いたことを市の給食検討委員会に伝え、検討してもらい、つぎの献立に反映してもらっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 健康診断の結果は、必要に応じて保護者に伝え、歯科健診の結果は結果票に記載し、保護者に渡している。 健康に関する絵本の読み聞かせや手洗いの仕方の掲示等、子どもたちなりに健康への関心がもてるよう取り組まれている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 A
<p>良い点／工夫されている点： アレルギー児については、入園前に調査を実施し、医師の診断のもと、保護者・園長・主任・担任・調理員等で密に話し合い、マニュアルに従って安全に対応されている。 給食用の皿は色を変え、誤食がないようにしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： チェック表を使用し、調理場を毎日点検するとともに、衛生管理マニュアルに従って、調理員一人一人がしっかり衛生に気を付けている。 毎月、市から依頼を受けた検査所が点検・消毒している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
<p>VI-1- (1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 献立・給食だよりを毎月保護者に配布し、また、その日の給食をサンプル展示することで保護者に分かりやすく伝えている。 3歳児では給食参観で保護者に子どもと一緒に試食してもらい、調理員からもメニューについて説明している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1- (2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 降園時を中心に、その日の園児の様子を相互に情報交換している。十分な時間がとれない時は、個人面談等の中で、ゆっくりと話し合う機会を作っている。 未満児や特別支援児は連絡帳で連絡を取り合い、以上児はおたより帳で1か月毎に保護者との情報交換している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1- (3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 学期に1回の保育及び家族参観を実施し、保育所での様子を保護者に観てもらっている。個人懇談会を年2回もち、保護者とお互いに理解できる場を設けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 個人懇談会では、保育所では見られない家庭での子どもの様子を保護者が話される場合もあり、個別記録の中に懇談結果を残すなどの工夫が望ましい。</p>	
<p>VI-1- (4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 職員は、マニュアルに基づく研修を実施し、虐待に対する警戒心を持ち、着替えの際等に身体に傷がないか常に目を光らせている。 家庭に事情がある子どもについては、迅速な対応ができるよう職員間の連絡を密にすると共に、市の子育て支援課への連絡もしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 市の「不審者の侵入時の対応する安全管理マニュアル」に基づき、侵入の備え、確認の流れ・行動など職員体制を確立し、定期的に不審者対応訓練を行っている。また、関係機関、近隣学校、近隣住民と連携し通報など協力体制を整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 「年間行事計画」の配布、毎月発行の「園だより」や「クラスだより」を通して情報提供を行い、行事に参加できなかった保護者に対しては、送迎時に写真や口頭で状況を伝えるなど参加への配慮を行っている。なお、当方アンケートの「保護者が参加しやすいよう、行事日程が配慮されていますか？」に対し、「十分配慮されていると思う」「どちらかと言えば配慮されていると思う」と回答した保護者が93%を占めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 規約を定めて活動する保護者会の行事（人形劇鑑賞会・ふれあい動物園など）に対し全面的に協力し、常に双方のコミニケーションの構築に配慮している。また、行事の様子はホームページ等にも掲載している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 地元小学校が定期的で開催する「小学校・保育園・幼稚園との情報交換会」に参加し、相互に連携する体制にある。また、地元小学校との園内交流、年長児の就学前の学校参観、職員による卒園児の授業参観など相互の連携・交流を盛んに行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	